

福山市久松台小学校 スタートカリキュラム計画

令和7年4月作成

学校教育目標

自ら考え 正しく判断し 行動する 感性豊かな子

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
行事	入学式・一年生を迎える会・遠足・学校探検・避難訓練・身体測定・運動会・交通安全教室・町別児童会					終業式	社会見学・音楽発表会・終業式			大縄大会・新1年生体験入学・6送会・卒業式・修了式		
育ってほしい児童の姿	入学当初の児童の姿 ①学校生活への不安 ・複数の幼稚園、保育園からの入学で集団生活への不安 ・登下校への不安 ・日課への不安 ②学習への期待 ・文字や計算ができるようになりたい ③上級生への憧れ  入学式、一年生を迎える会、お兄さん、お姉さんはやさしいな。おかげで心配がなくなったよ。  学校ではどんなことをするのかな？早く字を書きたい。やってみたい！  小学校ってどんなところかな？友達できるかな？一人で歩いて帰られるかな。 お兄さんお姉さんはカッコいいな。あんなふうになりたいよ。 運動会でも、6年生が優しく教えてくれて、頑張れたよ。 勉強のやり方がだんだんわかった 小学校には、たくさんの人たちが応援してくれているのだね。 毎日登校班で歩いて来たから通学路を覚えたよ。 学校に慣れてきたよ。係・当番活動もできる 2学期はじめ ・友だちと関わり合いながら進んで学習をすることができる。 ・相手の事を考えて話したり行動したりすることができる。 ・きまりを守って行動することができる。 ・自分の力を信じて学習に向かうことができる。 安心 成長 自立 期待する児童の姿（資質、能力） ①知識及び技能の基礎 小学校生活に慣れ、必要な生活、学習習慣や技能を身に付け、学習等をするようになる。 ②思考力、判断力、表現等の基礎 小学校生活を支えている人々や施設など自分との関わりが分かる。公共のきまりを理解して、守ることができる。 ③学びに向かう力、人間性 1年生になってできるようになったことが増えたという喜びを味わい、自信をもって学習等に取り組もうとする。											
	主な学習活動	生活科を中心とした総合的・関連的な学習活動の充実 教科単元名「まなびのじゅんぴ」(7H) 国語「図書館へいこう」(1H) 生活「友達となかよくなろう」(2H) 学級活動「たのしい学校生活」「給食について」(2H) 書写「鉛筆の持ち方」(1H) 体育「固定施設を使った運動遊び」(1H) 生活科を中心とした総合的・関連的な学習活動の充実 教科単元名「しょうがっこうをしよう」(12H) 国語「こんなものみつけたよ」(2H) 「なんていおうかな」(2H) 「図書館へ行こう」(2H) 生活「学校となかよくなろう」(4H) 音楽「うたっておどってなかよくなろう」(2H) 異学年交流…2年生と合同学校探検 関連的な学習単元「2学期」 国語…片仮名・漢字になれ、書こうとする。 「じどう車くらべ」「くじらぐも」「むかしばなしをよもう」 算数…「くり上がりのあるたし算」「くり下がりのあるひき算」 生活…「おいでよあきのテーマパーク」 音楽…「どれみとなかよくなよう」 図画工作…「のってみたいな いきたいな」 体育…「器械・器具を使った運動あそび」 道徳…「はしの上のおおかみ」学級活動…「自分からあいさつ」 関連的な学習単元「3学期」 国語…「片仮名」「漢字」を正確に覚える。 「どうぶつの赤ちゃん」「いいこといっぱい、一年生」 算数…「たし算」「ひき算」を正確に計算する。 文章問題を○図で表現し、立式することができる。 生活…「もうすぐ2年生」音楽…「音を合わせて」 図画工作…「うつしたかたちから」 体育…「ゲーム遊び」「体づくり運動（長縄大会）」 学級活動…「自分をふり返ろう」「2年生にむけて」 ← 読み語りの充実 →										
環境構成（人・もの・こと等）		○安心感を持ち、生活ができるように教室環境を工夫する。 →名前、当番表、日直表の掲示。黒板の回りには掲示物をしない。 ○1日の生活がスムーズに始められるように、日課表などの視覚支援をする。 →時計・文字・絵写真などを提示して始業からの動きを分かりやすく表示する。 ○生活科を中心とした、総合的・関連的な学習を行う。45分授業にこだわらず、子どもの意欲や学習内容に合わせて学習時間を区切る。 →学校探検の中で、学校生活に必要な場所や先生を覚える。 ○安心して下校ができるよう、下校のコース別に地図を見て、保護者にランドセルにリボンを付けてもらう。 →下校には、コース別に職員が引率する。 ○行事に関して、入学式に手をつないだ6年生との関わりを継続する。 ○ボランティアさんによる本の読み語りタイムをもつ。 ○アンケートを用いて、本人の学級に対する意識調査をする。					○1学期の学級の様子を振り返りながら学年経営案及び学級経営案を立て、本人の自己肯定感を高める学級づくりをする。 ○係活動やグループ活動を活性化させる。 ○図画工作科において鑑賞タイムを充実し、相互理解に役立てる。 ○ボランティアさんによる本の読み語りタイムをもつ。 ○学校図書館の利用を充実させ、ことばに親しみ知識を増やしていく。 ○自主学习ノートを活性化させ、自分の学びたいことを学ぶ習慣をつくる。 ○音楽発表会を通して、集団としてのまとまりや力を合わせる楽しさを感じさせる。 ○長縄大会での経験をもとに、学級遊びや体育科の授業を通して、友達とよりよく関わり運動するよさについて味わわせる。			○1年のまとめの学期ととらえて、自己肯定感が高まったか検証をする。 ○新1年生との交流会では、園児が入学を心待ちにできるような相手意識を持った内容を児童と共に計画する。 ○新1年生を意識して、教室環境を整える。 ○自分の1年間の成長をふりかえり、新2年生への意欲を持つ。 ○9年間使用するキャリアファイルを作成し、成長する自分への思いをはせるとともに、家族や友達、地域の方々など、自分を支えてくれている人たちの存在に気付かせる。		
連携の場所・園	○指導要録、引き継ぎ書による連携。 ○スタート訪問 ○年6回の連絡協議会 ○個別の児童について、必要に応じて電話等での連携。					○保育参観			○園児と児童との交流 ○出前授業 ○来年度入学予定児童の体験入学の実施			
連携の組織と	○前年度引き継ぎ事項の確認を管理職、特別支援コーディネーター、前1年生の担任と行う。 ○入学式に向けて6年生担任との打ち合わせ。○運動会に向けて、6年生担任との連携をする。 ○身体測定、定期検診に向けて、養護教諭との打ち合わせ。○学校探検に向けて2年生と連携。					○おもちゃあそびを通して、2年生や6年生と連携し、交流する。 ○給食指導と栄養指導を通して、健康や食育に関する関心を高める。			○新1年生を迎えるにあたって、5年生と連携をとる。 ○幼稚園、保育園、こども園の担任と入学前の連携 ○連携をもとにしたクラス編成			
家庭との連携	○入学式後の当面の学校生活について保護者に説明をする。 ○一週間ごとに学校での学習の予定や児童の様子を保護者に伝え、保護者が学校生活への見通しを持ち、安心できるようにする。 ○家庭訪問を実施し、保護者の願いや学校での様子を共有する。					○連絡帳を活用して連携を図る。 ○学年通信において、行事等の連絡をする。 ○個人懇談			○入学説明会を通して保護者が安心して入学させることができる資料を作る。 ○進級に向けた保護者の不安や期待を受け止め、特別支援コーディネーターと連携し、新担任へ引き継ぐ。 ○希望個人懇談			
考 備												